

平成 29 年度事業報告

平成 29 年度庶務事項

1. 役員・評議員構成

(平成 29 年度末、五十音順)

役 職	氏 名	兼職状況
代 表 理 事	千 葉 茂 樹	岩手県副知事
業 務 執 行 理 事	鈴 木 敦	岩手県政策地域部副部長兼地域振興室長兼台風災害復旧復興推進室長
理 事	植 田 眞 弘	岩手県立大学研究・地域連携本部特任教授
理 事	菅 野 信 弘	北里大学海洋生命科学部長
理 事	後 藤 均	岩手県漁業協同組合連合会専務理事
理 事	中 村 一 郎	三陸鉄道株式会社代表取締役社長
監 事	菊 池 芳 泉	一般社団法人岩手県銀行協会常務理事
監 事	佐 藤 修	岩手県町村会事務局長
評 議 員	佐 藤 廣 昭	宮古市副市長
評 議 員	菅 原 悦 子	岩手大学三陸復興・地域創生推進機構長
評 議 員	高 泰 久	大船渡市副市長
評 議 員	中 居 正 剛	久慈市副市長
評 議 員	橋 本 良 隆	岩手県商工会議所連合会専務理事
評 議 員	藤 田 康 幸	岩手県政策地域部長
評 議 員	山 崎 秀 樹	釜石市副市長

2. 会議等開催状況

年月日	記 事
29. 4. 19	理事会（決議省略） 第 1 号議案 理事、監事及び評議員選任にかかる評議員会の決議の省略について
4. 26	評議員会（決議省略） 第 1 号議案 理事の選任について 第 2 号議案 監事の選任について 第 3 号議案 評議員の選任について
5. 8	変更登記（理事、監事、評議員の変更）
5. 9	理事会（決議省略） 第 1 号議案 業務執行理事の選定について
5. 10	本監査（於：岩手県議会棟）

- 5.18 第1回県北沿岸地域特産品開発事業審査委員会（於：岩手県議会棟）
- 5.30 第1回理事会（於：岩手県議会棟）
 報 告 職務執行の状況について
 第1号議案 平成28年度事業報告及び附属明細書の承認について
 第2号議案 平成28年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について
 第3号議案 平成29年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
- 6.12 第1回調査研究事業審査委員会（於：岩手県民会館）
- 6.13 第1回地域コミュニティ再生支援事業審査委員会（於：岩手県公会堂）
- 6.14 第1回イベント開催助成事業審査委員会（於：岩手県民会館）
- 6.20 第1回評議員会（於：岩手県庁）
 報 告 職務執行の状況について
 第1号議案 議事録署名人の選出について
 第2号議案 平成28年度事業報告及び附属明細書の承認について
 第3号議案 平成28年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について
 第4号議案 任期満了に伴う理事の選任について
- 6.20 理事会（決議省略）
 第1号議案 代表理事及び業務執行理事の選定について
- 7.4 変更登記（代表理事及び理事の重任）
- 8.21 理事会（決議省略）
 第1号議案 評議員選任にかかる評議員会の決議の省略について
- 8.25 平成29年度第1回成果報告会（於：岩手大学釜石サテライト）
- 8.30 評議員会（決議省略）
 第1号議案 評議員の選任について
- 9.11 変更登記（評議員の変更）
- 10.27 財政的援助団体等に係る監査（予備監査）（於：岩手県庁）

30.1.18	財政的援助団体等に係る監査（本監査）（於：岩手県庁）
3.14	<p>第2回理事会（於：岩手県庁）</p> <p>報 告 職務執行の状況について</p> <p>第1号議案 平成30年度事業計画及び収支予算の承認について</p> <p>第2号議案 公益財団法人さんりく基金職員就業規程の一部改正について</p> <p>第3号議案 公益財団法人さんりく基金財務規程の一部改正について</p> <p>第4号議案 平成29年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について</p>
3.27	<p>第2回評議員会（於：岩手県庁）</p> <p>報 告 職務執行の状況について</p> <p>第1号議案 議長の選出について</p> <p>第2号議案 議事録署名人の選出について</p> <p>第3号議案 平成30年度事業計画及び収支予算の承認について</p>

基本財産造成状況等

1 基本財産造成状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）	<u>335,400,000 円</u>
(1) 県	230,000,000 円
(2) 市町村	100,000,000 円
(3) 民間企業団体等	5,400,000 円

市町村別出捐内訳

（単位：千円）

市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額
大船渡市 <small>（うち旧三陸町分）</small>	10,900 (3,600)	宮古市 <small>（うち旧宮古市分） （うち旧田老町分） （うち旧新里村分） （うち旧川井村分）</small>	19,000 (10,000) (3,100) (2,900) (3,000)	久慈市 <small>（うち旧久慈市分） （うち旧山形村分）</small>	10,400 (7,500) (2,900)
陸前高田市	6,100			普代村	2,900
住田町	3,400			野田村	3,100
釜石市	9,200			洋野町 <small>（うち旧種市町分） （うち旧大野村分）</small>	7,800 (4,500) (3,300)
大槌町	4,900				
遠野市 <small>（うち旧遠野市分） （うち旧宮守村分）</small>	9,400 (6,200) (3,200)	岩泉町	4,400		
		田野畑村	3,100		
合 計				100,000	

民間企業・団体等出捐内訳（名称は出捐当時）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県銀行協会（岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、みちのく銀行、盛岡信用金庫、宮古信用金庫、一関信用金庫、花巻信用金庫） ・ 新日本製鐵株式會社釜石製鐵所 ・ 東北電力株式会社岩手支店 ・ 日本電信電話株式会社盛岡支店 ・ 久慈商工会議所 ・ 宮古商工会議所 ・ 釜石商工会議所 ・ 大船渡商工会議所 	2,000 千円 1,000 千円 1,000 千円 1,000 千円 100 千円 100 千円 100 千円 100 千円
民間企業・団体等計	5,400 千円

2 投資有価証券評価益（平成 30 年 3 月 31 日現在）	<u>6,553,576 円</u>
---------------------------------	--------------------

基本財産合計額 341,953,576 円

平成 29 年度事業実施状況について

1 基本方針

当財団の設立目的である三陸地域及びその周辺地域の振興を図るため、東日本大震災津波発災以降、復旧・復興に重点的に取り組んできたところであるが、平成 29 年度は、平成 28 年台風第 10 号災害からの早期の復旧・復興に向けた支援や三陸地域全体の総合振興に向けた推進体制の強化、地域資源を生かした交流人口拡大の取組への支援を重点的に取り組んだ。

2 事業別の実施状況

公 1：三陸地域の振興に関する総合的な調査研究及び提言

1 三陸地域の交流人口拡大に向けた広域活動調査

〔目 的〕

被災地の持続可能な地域社会の構築に向けて、地域資源を生かした観光などの産業振興や三陸ブランドの確立などにかかる事業を総合的に展開し、三陸地域一体となった魅力的な地域づくりの実現につなげるもの。

〔実施状況〕

(1) 三陸沿岸地域観光宿泊者満足度等調査の実施（委託先：一般財団法人岩手県経済研究所）

三陸沿岸地域に所在する宿泊施設の宿泊客に対する旅行満足度や消費額等の調査を実施するとともに、高額観光消費が期待される者の旅行ニーズを把握するため、首都圏在住の富裕者層に対して旅行嗜好やニーズ、当該地域への旅行経験や観光地の知名度等の調査を行った。

(2) 三陸総合振興自立型推進機関設立可能性調査の実施（委託先：一般財団法人岩手県経済研究所）

三陸地域の継続的な活性化を図るため、当該地域の経済構造等の分析を行うとともに、取組効果の高い産業分野として、「域外から外貨を稼ぐ基盤産業（食料品製造業）」に対する支援策と支援策を実行する支援機関の設立可能性について調査した。

(3) 三陸防災復興プロジェクト 2019 基本計画作成支援

三陸地域の復興の取組や多様な魅力の発信と交流の活発化により、三陸地域への関心や認知度を高めながら、東日本大震災津波の風化を防ぐとともに、新しい三陸の創造につなげていくことを目的に開催する総合的な防災復興行事の準備として必要な基本計画の作成を支援するため、「三陸防災復興博（仮称）準備委員会」に対し、負担金を支出した。

(4) 平庭高原を活用したモニターツアーの実施（委託先：株式会社岩手県北観光）

「白樺美林！平庭高原で満喫 2 日間（平成 30 年 3 月 24 日～25 日）」として、平庭高原の地域資源である「白樺林」や「ワイン」を活用したさまざまな体験メニューを実施した。モニターツアーで魅力の発信を行うとともに、アンケート調査により反応や効果等を確認し、新しい体験メニューの造成・催行に向けた検証を行った。

公 2 : 三陸地域の振興のための人材育成

1 三陸ジオパーク推進協議会負担金（ジオパークガイド養成経費等）

〔目 的〕

三陸ジオパークの担い手となる地域住民ガイドの養成等、三陸ジオパーク推進協議会の活動を推進するもの。

〔実施状況〕

三陸ジオパーク推進協議会において、三陸ジオパークエリア内で活動するガイドの中核となる「三陸ジオパーク認定ガイド」5名を認定したほか、昨年度認定したガイドには、平成29年10月～11月に実施された日本ジオパーク委員会再認定審査に対応いただいた。

また、昨年度に引き続き「三陸ジオパーク検定」を実施し、地域住民に対して三陸ジオパークの周知普及を図った（合格者22人）。

2 三陸地域の総合的な振興を図るためのセミナー等の開催

〔目 的〕

観光振興をはじめとした三陸地域の総合的な振興を図るためのセミナー等を開催し、地域を牽引する事業者や関係団体等の関心と理解を深めるとともに人材の育成につなげるもの。

〔実施状況〕

三陸沿岸地域の豊かな自然・食材の恵み・郷土文化等を生かした体験プログラムをはじめとする売れる旅行商品の企画を担う人材の育成をするため、三陸観光プランナー養成塾を5回開催。受講生は21名。

	開催月日	開催場所	主な内容
第1回	平成29年11月15、16日	普代村	○三陸観光プランナー養成塾概要説明 ○講演「共感が得られやすい地域創りのコツ」 ○体験プログラム「普代村観光資源発掘トレイルツアー」
第2回	平成29年12月13、14日	宮古市	○体験プログラム「宮古魚市場を活用したせり体験」 ○講演「商品を作ることが地域に人を呼ぶ事ではない～観光マーケティング～」
第3回	平成30年1月15、16日	陸前高田市	○体験プログラム「復興最前線ツアー」、「タグラグビーを通じた教育旅行プログラム」 ○講演「東北の人流拡大へ『防災ツーリズム』への取組」
第4回	平成30年2月14、15日	青森県（八戸市・南部町）	○八戸市内観光関係施設視察 ○八戸市、南部町観光事例紹介
第5回	平成30年3月14、15日	大船渡市・住田町	○成果発表会 ○講演「さんりく観光の未来～三陸観光プランナー養成塾卒業生へのエール」 ○体験プログラム「住田町フィールドワーク」

3 被災地の若手経営者等を対象とした人材育成

〔目 的〕

東日本大震災津波による被災地の産業振興と活力の向上のため、意欲ある若手経営者等を次世代の地域リーダーとなる産業人材として育成するもの。

〔実施状況〕

公益財団法人いわて産業振興センターに委託し、中小企業の経営者や後継者等を育成する講座「さんりく未来創造塾」を計7回開催した。10名が受講し8名が修了、事業戦略や財務、マーケティング等のノウハウを学んだ。

	内 容	実施日	場 所
第1講	リーダー像について	平成29年8月23、24日	宮古市民文化会館
第2講	事業構想について	平成29年9月14、15日	岩手県公会堂
第3講	事業戦略について	平成29年10月12、13日	岩手県工業技術センター
第4講	マーケティングについて	平成29年11月16、17日	岩手県工業技術センター
第5講	財務について	平成29年12月7、8日	岩手県工業技術センター
第6講	事業構想中間発表	平成30年1月18、19日	宮古市総合体育館
第7講	事業構想発表会	平成30年2月24日	岩手県立大学宮古短期大学部

公3：三陸地域の振興に関する調査研究事業に対する助成

公4：三陸地域及びその周辺地域の振興に関する研究開発事業に対する助成

○ 調査研究事業

〔目 的〕

大学・研究機関等の知的資源を生かした三陸地域の振興に資するための実用性・事業性の高い研究事業への助成を行い、その調査研究成果の普及啓発等により、三陸地域の地域資源を活用した研究・開発の促進を図る。

〔実施状況〕

- (1) 助成件数 4件（助成総額 6,393,000円）（別添資料1参照）
- (2) 機関誌「三陸総合研究」第42号の発行（250部、9月発行）
- (3) 成果報告会の開催（平成29年8月25日 参加者51名）

公5：三陸地域及びその周辺地域の地域振興を図るための事業に対する助成

1 県北沿岸地域特産品開発事業

〔目 的〕

地域の農林水産物や観光資源などの特性を生かした新商品開発や商品リニューアルに加え、商品の販路開拓に係る経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数 46件（助成総額 20,688,000円）（別添資料2参照）

2 地域コミュニティ再生支援事業

〔目 的〕

地域コミュニティの再生に向け、若者・女性をはじめとする地域住民・関係者が主体となって行う地域再生計画の策定とその計画実現に向けた活動経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数 12件（助成総額 8,778,000円）（別添資料3参照）

3 イベント開催助成事業

〔目的〕

三陸地域の活性化及び交流人口の拡大に向けたイベント（震災復興に資する取組、また三陸地域として広域的波及効果がみられる取組と認められるもの）開催経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数 1件 （助成金額 6,953,000円）

申請者	住所	事業概要
三陸聖地化委員会	大槌町	三陸コネクトフェスティバル（若者やインバウンドをターゲットとした、人気声優が集結するライブ、グルメイベント）

事業報告の附属明細書の作成について

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 30 年 5 月

公益財団法人さんりく基金

(資料1) 調査研究事業(4件) 実績一覧

	申請者名	事業名	助成金額 (円)
1	国立大学法人岩手大学 有限会社かくりき商店	イカ中骨除去機構の試作とその実証試験	2,000,000
2	株式会社ササキプラスチック 岩手医科大学	3DCAD/CAMと3Dプリンタを活用した医療用モデルの製作	2,000,000
3	岩手県水産技術センター 国立大学法人岩手大学 種市南漁業協同組合	ミズダコを主対象としたカゴ漁業における資源管理型漁業の促進	1,393,000
4	国立大学法人岩手大学	三陸の貝類養殖漁業に大きな被害をもたらす外来種ヨーロッパザラボヤの生態学的研究	1,000,000
		合計	6,393,000

(資料2) 県北沿岸地域特産品開発事業(46件) 実績一覧

	申請者名	住 所	事業概要	助成金額 (円)
1	株式会社浄法寺漆産業	二戸市	浄法寺漆及び岩泉町産木材を使用した、岩泉ヨーグルト専用スプーンの企画開発	500,000
2	権七園	二戸市	二戸市産果物と四国産柑橘類のコラボ商品開発「岩手林檎と香川ベルガモットのこことこ煮」	427,000
3	大黒醤油株式会社	軽米町	えごまの搾油後の「脱脂えごま」を活用したおかず味噌の商品化	282,000
4	株式会社軽米町産業開発	軽米町	軽米町のお洒落なシリアル商品開発と詰め合わせのギフトセット	578,000
5	軽米地域ミレット振興協議会	軽米町	軽米産スーパーフード「エゴマ」の焼きドーナツ	563,000
6	古館製麺所	軽米町	岩手県産小麦を使用した干し中華麺の開発と「やませそば」の商品改良	456,000
7	株式会社九戸村ふるさと振興公社	九戸村	いわての貴重な野生資源イワテヤマナシの商品化「イワテヤマナシシャーベット」	619,000
8	小井田 寛周	九戸村	九戸村特産の「手打ちクルミ」を使ったくるみせんべいの開発と既存商品のパッケージ改良によるブランド力の向上	364,000
9	株式会社社長根商店	洋野町	キノコをメインとした無化学調味料の開発および販売ツールの作成	500,000
10	中城酒店	洋野町	乾燥菊芋の商品化	95,000
11	有限会社梨忠商店	洋野町	わかめの化粧箱の作成、天然カットわかめラベル作成	459,000
12	山根六郷の里協議会	久慈市	山根六郷の山の恵みがたっぷり入った、べっぴんカフェの絶品スイーツ	500,000
13	横沼町内会まちづくり推進委員会	久慈市	侍浜の里の幸、未利用地域農業資源を活用した「ほうれん草ビューレ」商品開発	500,000
14	中村木炭	久慈市	インテリアにもなる炭王国の可愛い飾り炭商品化	500,000
15	協同組合ガタゴン	久慈市	「日本一の白樺の樹液の恵み、美容エステセット」ギフトパッケージ開発	500,000
16	株式会社のだむら	野田村	「プレミアム燻製のだ塩」開発事業	500,000
17	涼海の丘ワイナリー	野田村	プレミアム山ぶどうワイン特製ラベルデザイン制作	500,000
18	かまどのつきや	野田村	新商品「自家製ドレッシング及び味噌」のパッケージと自社PRのぼりの作成	336,000
19	有限会社大沢菓子店	野田村	地域特産品を活用した新商品開発及び地域観光名所とタイアップした商品リーフレット活用による販売力強化	500,000
20	株式会社青の国ふだい	普代村	青の国ふだい「こんぶ鯉鮓」「昆布ラーメン」セット商品開発	500,000
21	海産物のくまもと	普代村	自らが育てた「山・海加工品」のシリーズ化による販路拡大事業	499,000
22	普代村漁業協同組合女性部	普代村	普代村特産の昆布を活用したお土産品「祝・結び昆布」の商品開発	570,000
23	丸友しまか有限会社	宮古市	一般消費者向け共通商品ラベルデザインの作成	382,000
24	山根商店	宮古市	いわて三陸SAKE(鮭・酒)三味	408,000
25	小豆嶋漁業株式会社	大槌町	「焼き魚シリーズ」のパッケージ、チラシの作成	362,000

26	マタギ倶楽部	大槌町	松茸商品のパッケージ・チラシ作成	427,000
27	デジタルブックプリント株式会社	大槌町	「ビールいっぱい幸せ」の新商品パッケージ制作	565,000
28	大槌復興刺し子プロジェクト	大槌町	新商品「刺し子キット」の開発とコミュニティマーケティングの実践	428,000
29	海の家 夏の風SUMMERWIND	大槌町	オリジナルビール開発	129,000
30	一般社団法人遠野ふるさと公社	遠野市	どぶろくの改良と販路拡大	551,000
31	三陸いりや水産株式会社	釜石市	三陸産サケ頭を活用した新商品（ご飯のお供）の開発	370,000
32	株式会社川喜	釜石市	コンセプトとパッケージのリニューアルによる既存商品「盛岡生冷麺」「じゃじゃめん」「ラガーラーメン」の販路開拓	500,000
33	釜石ヒカリフーズ株式会社	釜石市	三陸産焼ウニを活用した新商品の開発「焼ウニと海の幸のリゾット」	500,000
34	有限会社小島製菓	釜石市	ラグビーボール型のお菓子「釜石ラグビーパイ」の開発	500,000
35	大船渡秋刀魚だし黒船	大船渡市	大船渡及び店名をアピールするためのオリジナルビール制作	545,000
36	丸忠商店	大船渡市	自社商品のコンセプトの見直しとパッケージデザインの一新	496,000
37	菓子工房 おおうらや	大船渡市	岩手県産の牛乳・卵を使用した新商品開発「おらほのプリン」と販路拡大に向けたギフト用パッケージの製作	366,000
38	山口商店	大船渡市	「鐵五郎の三陸わかめ」のパッケージリニューアルと販路開拓事業	302,000
39	浜の駅 碁石海岸	大船渡市	塩蔵若布、塩蔵昆布のパッケージ改良	397,000
40	カフェ・ド・カレーKojika	大船渡市	三陸特産・特大ホタテを使用した新商品の開発と販路開拓事業	537,000
41	株式会社サクラダ	大船渡市	「紅葉漬」のパッケージ製作	480,000
42	野村海産株式会社	大船渡市	三陸産アワビと地元食材を活用した商品開発「あわび粕漬」	500,000
43	壺屋田耕	大船渡市	人気商品「はな椿」のパッケージデザインの改良と宣伝用ツールの作成	547,000
44	らら・ばれっと	陸前高田市	米崎りんごの新商品開発「りんごのコンポート」	262,000
45	ひころいちファーム	陸前高田市	誰でも簡単に茹でやすい平麺ばすたの改良とパッケージのブラッシュアップ	386,000
46	御菓子司木村屋	陸前高田市	地元産のブランド米「たかたのゆめ」を原材料とした米粉100%のソフトなホワイトバウムクーヘンの開発	500,000
			合計	20,688,000

(資料3) 地域コミュニティ再生支援事業 (12件) 実績一覧

	申請者名	住 所	事業概要	助成金額 (円)
1	奥山町内会	二戸市	歴史勉強会や街道歩きなどを通じた、将来を見据えた地域づくり事業	350,000
2	よりゃんせ金田一	二戸市	地域の空き家を活用・整備した「佐太郎茶屋」での住民交流、地域活性化事業	1,000,000
3	高屋敷町内会	一戸町	地域防災研修や見守り活動など、安心安全のまちづくりに向けた住民交流事業	758,000
4	明戸の元気応援団	田野畑村	地域再生に向けた交流イベントや地域の誇れる自然・行事等の映像制作づくり	999,000
5	一般社団法人岩泉デザイン会議	岩泉町	龍泉洞を活かした地域交流活性化プロジェクト (「龍泉洞ブルーArtWeek2017」、「ブルーマーケット」の開催)	848,000
6	門町婦人会	岩泉町	コミュニティ再生に向けた交流イベントや郷土料理の伝承	890,000
7	やまだわんぴいす	山田町	山田中央災害公営住宅コミュニティ形成プロジェクト (農園を活用した農作業や食を通じたコミュニティづくり)	514,000
8	おおつちバラエティショー実行委員会	大槌町	おおつちバラエティショープロジェクト～演劇を通じた大槌町の魅力・元気・文化のブランド化～	1,000,000
9	釜石地区漁業協同組合女性部活動推進協議会	釜石市	魚のまち釜石の復活に向けた売れる水産加工品づくり	230,000
10	特定非営利活動法人かまいしリンク	釜石市	つながり人口の拡大に向けた、空き家リノベーション事業	782,000
11	鶴住居地区復興まちづくり協議会	釜石市	地元の子供たちの意見を取り入れたあそび場づくり	1,000,000
12	特定非営利活動法人再生の里ヤルキタウン	陸前高田市	「スポーツ特区を活用した地域創生」事業	407,000
			合計	8,778,000